

ディボーション質問表

20日(日) 先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

21日(月) エペソ人への手紙 6：10～24

(霊的戦い [6：10～20] による街と地域の変革)

1. 私たちの敵(格闘する相手)とは何ですか(4つ)？
2. 暗闇の敵に対抗するために必要な神の武具は何ですか(6つ)？ それぞれどのような役割がありますか？ どのように戦ったらよいのでしょうか？

22日(火) ピリピ人への手紙 1：1～14

1. パウロはピリピの人々へ手紙を送りましたが、彼はピリピの人々を喜び、ほめ、そして祝福しています。パウロがピリピの人々を思う気持ちを想像してみましょう。あなたが大切に思っている人、あるいは遠くにいる人へ何か励ませることがありませんか？ 具体的に考えてみましょう(1～11節)。
2. パウロは投獄されている身でありながら、かえって福音を前進させることになったと喜んでいますが。あなたの目に悪いように映っている事も天の父の目的があるかもしれません。困難に遭うときあなたはどのように思いますか(12～14節)。

23日(水) ピリピ人への手紙 1：15～30

1. ねたみや争いをもってキリストを伝える者もいるとありますが、キリストにある仲間をねたんだりしていませんか？ 自分のことを確認してみましょう(15節)。
2. どういう場合にも恥じることなく大胆にキリストについて語るとパウロは言っています。なぜ、パウロは大胆になれたのでしょうか？ なぜ見栄からであるにしても真実からにしても福音が語られればよしなのでしょう(15～21節)？
3. 生きることはキリストであり、死ぬこともまた益です。あなたにとって福音にふさわしく生きるとはどのようなことですか(22～30節)？

24日(木) ピリピ人への手紙 2：1～15

1. 神であられる方が仕えるものの姿をとり、人間になり、死にまで従い、十字架に架かることがどうしてできたのか、黙想してみましょう(6～11節)。
2. 私たちは曲がった邪悪な世にあって、神の子どもとして生きています。仕える神さまの子どもとして、どうしたらよいと思いますか(1～5、12～15節)？

25日(金) ピリピ人への手紙 2：16～30

1. いのちのことはしっかりと握り、世の光として輝くために、助け合い、志を同じくする仲間がいますか？ いない人は仲間を求めましょう。いる人は志を分かち合しましょう。パウロは若いテモテの働きぶりをほめ、エパフロデトを戦友として尊敬を払って受け入れてくれるようにピリピの人々へお願いしています。あなたには強い絆で結ばれている人がいますか(16～27節)？
2. 同労者、兄弟姉妹に尊敬を払って仕えることをしていますか？ 誰かの為に祈りからはじめてみませんか？ またできることはないか具体的に考えてみましょう(29～30節)？

26日(土) ピリピ人への手紙 3：1～9

1. あなたにとって「人間的なものに頼むもの」とは何ですか？
2. あなたにとって「キリストを誇る」ことは、どんなことですか？
3. パウロの生きる姿勢をみて、これからあなたはどのように生きていきたいですか？